平成26年 12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

栃木県第1区

栃木県選挙管理委員会

原発ゼロ 再稼働ストップ、消費税10%はキッパリ中止

日本共産党 野村せつ子（のむらせつこ）

1953年2月3日生（61歳）

消費税増税、集団的自衛権、原発再稼働――民意を無視し暴走を続ける安倍政権に怒りと批判が大きく広がっています。

あなたの一票で暴走をストップさせ政治を変えるときです。日本共産党をのばせば政治は動きます。「政治を変えたい」との思いを、日本共産党と私、野村せつ子に託してください。

日本の政治の「5つの転換」を

財源
「消費税に頼らない別の道」を提案します
- 富裕層と大企業への優遇をあらため「能力に応じた負担」の原則をつらぬく税制改革をすすめます。
- 大企業の内部留保の一部を活用し、国民の所得を増やす経済改革で税収を増やします。

アベノミクス
「格差拡大」の暴走ストップ くらし第一で経済たてなおす
- 人間らしく働ける雇用のルールをつくります。
- 連続削減ストップ、暮らしを支える社会保障に。
- TPP交渉からの撤退、農林水産業、中小企業と地域経済を振興します。

集団的自衛権
「戦争する国」づくり許さない 憲法9条生かした平和外交を
- 集団的自衛権の「閣議決定」撤回、秘密保護法の撤廃を求めます。
- 9条の精神に立った平和の外交戦略で、北東アジアの平和と安定を築きます。

原発
再稼働ストップ「原発ゼロの日本」へ
- 無謀な原発再稼働強行・原発輸出に反対します。
- 再生可能エネルギーの大幅導入へ抜本的転換を。
- すべての原発被害者に国と東電の責任で必要な支援を。
- 住民合意のない最終処分場計画は白紙撤回に。

沖縄基地
新基地建設は中止を 基地のない平和な島へ
- 新基地建設ストップ、普天間基地の無条件撤去を。
- オスプレイ配備の撤回を要求し、オスプレイの全国展開に反対します。

●政策の詳細はホームページ　日本共産党　検索　http://www.jcp.or.jp/

野村せつ子略歴
- 1953年生まれ。武蔵野美術大学別科実技専修科卒。
- 栃木県議会議員1期。党県副委員長。

比例代表は 日本共産党 とお書きください

未来に責任を負う政党、それが日本共産党です

●綱領という未来への確かな羅針盤を持つ政党です
安倍政権の暴走に真正面から対決するだけでなく、国民の立場で建設的な提案ができるのも根本には、綱領の力があるからです。

●たしかな歴史を持つ党こそ、未来をひらく先頭に立てます
党をつくって92年。ひとすじに反戦平和をつらぬいてきた政党の存在意義にかけて、歴史を偽造する逆流や戦争への道は許しません。

●企業・団体献金禁止、政党助成金の廃止を
企業・団体献金も、政党助成金も受け取らず、財政も、一人ひとりの国民に支えられて活動する唯一の政党です。

暴走ストップ！政治を変える あなたの一票を野村せつ子と日本共産党へ

「地方創生」元気な日本をつくります。

自由民主党 船田はじめ（ふなだ）

昭和28年11月22日（61歳）

●決意を新たに

平成24年の衆議院選挙で自由民主党は、お陰様で政権に戻ることが出来ました。この2年間は大胆な金融緩和（一本目の矢）、効果的な財政出動（二本目の矢）、そして規制改革や地方創生（三本目の矢）、を通じて、アベノミクスを必死で進めてまいりました。

このため日本経済は長年のデフレ状態から脱却しつつありますが、一方で今年4月の消費税アップの影響は小さくなく、来年10月の10%への再増税は先送りとなりました。この度の総選挙はこれまでのアベノミクスへの評価と、再増税先送りの是非を国民の皆様に問いかけるものです。

私は党内において、電力供給の安定化、消費者被害の回復と防止、さらには規制改革の推進に全力で取り組み、アベノミクスを強力に後押ししてまいりました。また日本の価値を高めるために憲法改正への環境整備を、ライフワークとして取り組んでまいりました。

「地方創生」そして「元気な日本をつくる」ため、船田元をどうぞ働かせてください。

●アベノミクスの一層の強化。
- 法人税を減税し、企業の活力を引き出します。
- 規制改革を大胆に進め、3本目の矢を太くします。
- 消費者行政を強化し、安全な消費社会をつくります。

●地方創生の実現。
- 東京一極集中を是正し、地方の創生工夫をバックアップします。
- ネットワーク型コンパクトシティを実現します。
- LRTをはじめ、地域の公共交通体系を整備充実します。
- プロスポーツチームや各種イベントを後押しし、まちのにぎわいをとり戻します。

●グローバル人材の育成と科学技術の振興。
- 英語教育の改善やディベート、留学を奨励して、グローバル人材を育成します。
- 幼児教育の無償化など、家庭の教育費の低減を図ります。
- 再生医療やナノテクなど、先端科学技術を振興し、イノベーション立国を目指します。

●超少子高齢化社会の克服。
- 介護報酬のアップなど、福祉従事者の待遇を改善します。
- 地域の中核病院の機能を強化します。
- 予防医療や難病対策を充実します。
- 年金や健康保険の財政を安定化します。

●攻めの農業への転換。
- 農業者のための農協改革を実行します。
- 農産物の海外輸出を1兆円の大台に乗せます。
- 集団営農事業を推進し、農地の規模拡大を図ります。

●エネルギー供給の安定化。
- FIT制度を活用して、再生可能エネルギーのシェア拡大を目指します。
- 電力システム改革を進め、電気の安定供給と電気料金の抑制を図ります。
- 原発再稼働においては安全性を最優先し、廃炉技術などの開発に努めます。

●「国のかたち」を変える憲法改正。
- 日本の価値を高める憲法改正を実現します。
- 憲法改正国民投票の投票年齢とともに、選挙権年齢を18歳以上とします。

■ 船田 元プロフィール

1953年	宇都宮にて出生。宇都宮高校卒業後、慶應義塾大学経済学部を卒業
1979年	**最年少の25歳で衆議院総選挙に初当選。以来10期当選。**
1983年	慶應義塾大学大学院社会学研究科修士修了
1985年	総務政務次官
1987年	文部政務次官
1990年	自由民主党外交部会長
1992年	**国務大臣経済企画庁長官**
2004年	衆議院イラク人道復興支援活動特別委員会委員長
2005年	**自由民主党憲法調査会会長**
2007年	自由民主党科学技術創造立国推進調査会会長
2009年	衆議院消費者問題に関する特別委員長
2013年	**自由民主党消費者問題調査会会長**
2014年	自由民主党憲法改正推進本部本部長

民主党 柏倉ゆうじ（かしわくら）

昭和四十四年四月十日生（四十五歳）

地元 宇都宮出身 医師 45歳

「医療・福祉・雇用」を守ります

医療費は大幅に削られ、医師・看護師は不足し、地域医療は崩壊の危機を迎えています。栃木県内の医療現場も改善の兆しはなく、将来にわたり不安が増大する深刻な状況です。社会保障制度の充実に向けて、高齢者医療制度の抜本的な改革、医療・福祉・介護労働者の人材確保・処遇改善、短時間労働者の社会保険の拡大などに取り組みます。医療政策の大転換を図り、患者さんが望む医療体制を構築します。

雇用に関しても、ワーキングプアや非正規労働問題など、問題が山積みです。中高年対策などの雇用の安定や、職業教育から就労までの一貫した若年者雇用対策に取り組みます。過労死ゼロをめざし、関連法にもとづいた施策を着実に進めます。また、女性の就労促進に向けて、より一層の環境整備を図ります。

民主党 The Democratic Party of Japan

柏倉ゆうじ（かしわくら） 前衆議院議員 はやります

今こそ、流れを変える時。

雇用をつくり、所得を増やし、暮らしを安定させます。
社会を支える中間層を厚く、豊かにして、格差を是正します。

- 介護報酬の引上げ
- 労働者保護ルールの改悪阻止
- 女性と子どもの貧困解消
- 集団的自衛権閣議決定の撤回
- 議員定数削減・一票の較差是正

アベノミクスからの転換

http://www.kashiwakurayuji.jp/　柏倉ゆうじ　検索

柏倉ゆうじ（かしわくら） プロフィール

昭和44年	4月10日生 栃木県出身（45歳）
昭和57年	宇都宮市立峰小学校卒業
昭和60年	宇都宮市立陽東中学校卒業
昭和63年	県立宇都宮高等学校卒業
平成8年	岡山大学医学部卒業
平成16年	順天堂大学大学院修了「医学博士」 米国ジョンズホプキンス大学博士研究員
平成21年	岡山大学医学部特任准教授 慶応義塾大学大学院特別研究准教授
平成24年	衆議院議員選挙　初当選 厚生労働委員会　委員
平成25年	文部科学委員会　理事
平成26年	経済産業委員会　委員

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。）